

2008 年度事業報告

1. クリーンエイド活動

2008 年度は、特に春のクリーンエイドと特定せず、通年でいつでも実施していただくこととし、その中で、10・11 月を中心に秋のクリーンエイドと銘打って一斉行動を呼びかけ、ポスターとリーフレットを作成・配布し、インターネットやマスコミ等を通じて広く呼びかけを行った。その結果、1 月から 8 月までの期間に、荒川下流域で 27 会場を予定し、2 会場で雨天中止となり 25 会場で実施された。秋のクリーンエイドは 10・11 月を中心に、流域全体で 75 会場予定し、雨天中止を除いて下流域で 50 会場、上中流域で 17 会場（合計 67 会場）で実施され、参加者の合計は年間 10,278 人となった。2003 年以降（2005 年を除いて）1 万人を超えている。

東京都のゴミの収集と分別方法の変更に対応してゴミ調査カードを改訂し、分別方法もプラスチック類を緑色袋、金属・ガラス等燃やさないゴミを青色袋、ゴム・布など可燃ゴミは赤色袋として分別回収をお願いしたが、「緑色＝リサイクル」というイメージが強く徹底されなかった。調査カードにマーカーで色づけするなどの工夫もなされている。また、「キャプテン当日マニュアル」等を新たに作成し、各会場キャプテンがスムーズに当日運営ができるよう体制を整えた。

指導者育成講座としては、クリーンエイドリーダー説明会の午前中に「みんなの荒川クリーンエイド」として、はじめてクリーンエイドを実施する団体リーダーを中心に、実習と手順について総合的に学べる機会を設けた。また、6 月 15 日に「若者たちのクリーンエイド」を実施、10 月 19 日には、上記に参加した若者を中心に企画に加わってもらい、若者たちの関わりを強化した。

報告会では参加者によるグループミーティングを試み、実施団体間における交流・相互理解を促進した。

2. 水質調査

6 月 8 日、「身近な水環境の全国一斉調査」に参加し、荒川下流域と一部江戸川水域の 58 ヶ所で調査を実施した。この活動には当フォーラムも含めて 22 団体・グループが参加した。一方、秋のクリーンエイド実施時の水質調査は、下流域で 26 ヶ所、上中流と支流で 8 ヶ所、合わせて 34 ヶ所で実施された。試薬は無料で提供し、透視度計などの測定器材を有料頒布としたこともあり、水質調査実施団体が若干減少した。また、橋の中など川の流れの中心からではなく、水際などで採水したデータも多く含まれ、その場合はデータの信頼度が下がるため、実施方法に課題を残した。

3. 流域連携

荒川クリーンエイド・フォーラムでは、1996 年から毎年、荒川源流域の大滝村（現秩父市大滝）との交流を続け、2008 年度は源流エコツアーを 2 回実施した（後述）。また中流域の関係者の協力をいただき東松山都幾川で親子向けツアーを実施した（後述）。

2000 年から荒川流域水環境シンポジウムを開催して源流・中流との交流を進めてきた。2008 年から NPO 法人荒川流域ネットワークを中心に「荒川流域再生プロジェクト」を組織し、「魚の行き交う川作り」を目指して以下の行事を行った。8 月 21・22 日「ミズガキ交流会」、12 月 7 日「東京湾から荒川を考える」、2 月 22 日「荒川の恵みを分かち合う」をそれぞれテーマとしてシンポジウムを開催した。その中で天然アユが秋ヶ瀬の堰を約百万尾も遡上していることを確認し、「アユの遡上支援活動」を継続的に取り組んでいくことを確認した。

4. エコツアー・自然観察会等

「なつやすみ荒川中流自然遊び体感ツアー」として、7月26・27日、東松山都幾川、郷学研修所ほかでなつやすみ水辺の楽校と兼ねた親子向けツアーを、参加者スタッフ総勢27人で実施し、荒川下流域に住む親子に中流域の川と山を体験してもらった。

荒川源流エコツアー9月6・7日、11月22・23日の2回実施。秩父市大滝で営林事業の見学と原生林の散策、間伐体験、元村長や林業従事者との交流などを行い、山村の活性化に向けたさまざまな活動や試みを体験し学んだ。

5. 環境学習

主に小学校教員向けに「あらかわ楽習実践ガイド」を作成・配布し、活用を呼び掛けた。

また、「荒川エコキッズ育成」事業として、ナイトハイク（夜の河川敷の自然観察会）をはじめ、下平井水辺の楽校や中土手五色池での環境学習・自然観察会などを年間10回実施した。また10月5日、足立区生涯学習センターと荒川河川敷で指導者向け安全講習会を実施した。

さらに、クリーンエイドを活用した社員研修事業を立ち上げることを目指した調査を行い、荒川クリーンエイド・フォーラムを紹介するパンフレット、及び社員研修パンフレットを作成した。

6. 他セクターや全国・世界とつながる活動（参加・協力）

荒川下流部で活動する自然保護団体が集まって「荒川自然連絡会」を構成し、国土交通省荒川下流河川務所との間で「荒川自然懇談会」を2回行なった。足立区のゴルフ場跡地の利用について意見交換し、市民参加によって自然地をより親しみやすい場所にするように要請した。

環日本環境協力センター（NPEC）の呼びかけに応じ、引き続き、葛西海浜公園内東なぎさでの調査を4回実施し、2008年度海辺の漂着物調査検討会に出席して事例発表をした。また、クリーンアップ全国事務局（JEAN）を通じて、荒川と東京湾でのゴミ調査データを世界に発信した。

7. 広 報

荒川沿川の主要な駅（JRと東武鉄道、京成電鉄）の国土交通省のラックにリーフレットを置かせて頂き、また、駅構内にポスターを掲示して頂いた。

ホームページについては、実施団体の利便性を図る工夫（報告用紙やリーフレットのダウンロード等）、クリーンエイド会場やその他イベント速報を掲載するなどの工夫を進めた。

8. 運 営

5月18日、第9回通常総会において、東京大学大学院教授鬼頭秀一さんと江戸川大学教授の恵小百合さんが当法人の理事として承認された。鬼頭氏は環境倫理学の第一人者であり、総会において「恵と禍を分かち合う河川管理」と題して講演を頂いた。また、恵小百合氏は、特定非営利活動法人荒川流域ネットワークの代表で、荒川流域の活動を上中流と下流が強く連携して活動していく体制を強化することができた。なお、当フォーラム代表理事の佐藤正兵は、2007年度から荒川流域ネットワークの理事を務めている。

2008 年度活動報告の概要一覧

事業	活動名	実施日・会場等	概要
1 クリーンエ イド活動	通年クリーンエイド	1月～8月 25会場で実施	年間を通じていつでも実施可能とし、9～12月実施会場は秋に含めた。
	秋のクリーンエイド	9～12月 67会場で実施	下流域で50会場、上中流域で17会場実施
	クリーンエイド説明会	9月20日、荒川知水資料館	クリーンエイドや水質調査の実施手順等の研修
	指導者育成講座	6月15日 若者たちのCA 9月20日 みんなの荒川CA 10月19日 若者たちのCA	クリーンエイド、自然観察、ワークショップなど クリーンエイド実習（説明会午前中） 若者企画によるクリーンエイド、自然観察会
	報告会	12月6日 足立区生涯学習センター	データ集約の発表、実施会場の報告・感想等の発表とグループミーティング
2 水質調査	身近な水環境の全国一斉調査	6月8日を中心に22団体・グループが実施	荒川下流域(一部江戸川流域)58地点で実施 全国一斉調査と連携
	秋のクリーンエイド時水質調査	10～11月 会場近くで採水・実施	荒川本流下流部で27箇所、上中流と支流で8箇所実施
3 流域連携	荒川流域再生プロジェクト	荒川中流域を中心に3回のシンポジウムへの参加	8月「ミズガキ交流会」、12月「東京湾から荒川を考える」、2009年2月「荒川の恵みを分かち合う」シンポジウム
4 エコツア ー・自然観 察会等	なつやすみ荒川中流自然遊び体感ツアー	7月26・27日、東松山都幾川、郷学研修所ほか	なつやすみ水辺の楽校と兼ねた親子向けツアー 中流の川体験、ミニトレッキングなど(助成事業)
	荒川源流エコツアー	9月6・7日、11月22・23日の2回実施	秩父市大滝中津川で原生林散策、間伐体験、林業従事者との交流など
5 環境学習	荒川エコキッズ育成	4月～12月下平井水辺の楽校・中土手五色池ほか	夜の河川敷観察会など、自然体験・環境学習活動8回、自然観察会2回(助成事業)
	安全講習会	10月5日 足立区生涯学習センター	藤原尚雄氏を講師に、水辺の活動時の安全に関する講義と実地体験(助成事業)
	小中学校環境学習・高校奉仕活動等支援	通年 29回実施	講師活動、指導者向け河川環境学習ガイドブックの作成・配本(助成事業)
	社員研修の準備	通年	社員研修事業立ち上げのための調査とパンフレット作成(助成事業)
6 他セクター や全国・世 界とつなが る活動 (参加・協力)	行政・自治体とつながる活動	荒川自然連絡会と荒川下流事務所との懇談会など	荒川の河川ゴミや河川環境に関する行政への提言など
	全国や世界とつながる活動	「海辺の漂着物調査」やクリーンアップ全国事務局(JEAN)との連携	環日本環境協力センター(NPEC)の呼びかけに応じ、葛西海浜公園内東なぎさにて年4回実施、JEANへの情報提供
7 広 報	ニュースレター	年4回発行	クリーンエイド、行事の案内・報告を中心に内容を充実
	ホームページ	随時更新	クリーンエイド、行事の案内・報告、当フォーラムの紹介など
	Eメールニュース	年6回配信	クリーンエイド、行事の案内・報告を中心に
	ポスター・リーフレット	秋のクリーンエイド時ポスター1000部、リーフ2万部	秋のクリーンエイド会場等掲載。ポスターにも掲示。リーフレット荒川下流部沿川駅ラックに置いた
	報告集	2008報告集1,000部	会場報告とデータの集約を中心に
	荒川下流ゴミマップ2008	A2両面カラー1,000部	裏面は、子どもたちによるクリーンエイドの報告
8 運 営	定期総会	5月18日 荒川知水資料館	東京大学大学院教授、鬼頭秀一氏による記念講演「恵みと禍を分かち合う河川管理」
	振り返り・企画会(第1回連絡会)	2009年3月14日(土) 足立区生涯学習センター	2008年度の総括と次年度年間計画案について、会員・運営委員間で協議
	理事会または運営委員会	理事会2回 運営委員会6回開催	予算・決算の提案や当フォーラムの運営に関わる協議を行なった